



精密機械からソフト開発まで。

IOTと職人技を融合した一貫体制で  
お客様の夢をカタチにする。

株式会社 三松

さんまつ

代表取締役社長

田名部 徹朗氏

たなべ

てつろう

取引店／福岡銀行二日市支店

#### ■会社概要

創業:1974年／設立:1972年／所在地:福岡県筑紫野市／資本金:  
8,500万円／従業員:146名(2018年6月現在)／事業内容:金属加工  
業及び各種機械装置組立業／事業拠点:(本社・本社工場)福岡県  
筑紫野市、(工場・オフィス)福岡県朝倉郡筑前町、ベトナム・ハノイ



本社前(左から田名部社長、柴戸頭取)

## 葉たばこ乾燥機の製造からスタート 取り扱い製品は日々進化を続ける

我が社の設立は1972年（昭和47年）。

葉たばこ乾燥機の製造と、乾燥機の筐体の組立てを主業として始め、それから椎茸、い草の乾燥機へと次第に製品の幅を広げていきました。これらの製品は主に鋼板によって製造していましたが、その後は素材にステンレスやアルミを追加し、海苔乾燥機等の特殊な機械装置の製造も手掛けしました。さらには、製品の小型化にも挑戦し続け、現在では半導体製造装置のステンレス部品や、医薬品の充填・梱包ロボットや血液検査装置、携帯電話基地局のボックス製造など、月間約1万件もの依頼に対応し、月間生産個数は約10万個にものびります。また、お取引をいただいているお客様は約750社、我が社の協力企業も100社を超えました。「お客様からの要望があれば一個からでも製作する」「品質が第一」「納期を厳守」という3つの約束を会社設立以来頑なに守ってきたことが、これまで多くのお客様から信頼を得られたことにつながっていると思います。

## 自分にもできることがある 外資系バンカーからの転身

私は2代目社長・田名部貢の長男で、3代

目社長・安岡貞勝（現・会長）の甥にあたります。東京の大学を卒業後、大企業でインフラ基盤を整備するプロジェクトに取り組んだ後、海外ビジネスに興味があったことから外資系金融機関に勤めました。その頃までの私は、父や叔父の会社を承継することを考えていませんでしたが、外資系金融機関で多くの会社経営者の方とお話する中で、企業経営のあり方を学び、理念に触れたことで、「自分にもできることがある」と後継者になることを決意し、32歳の時に企画室長として入社。2010年（平成22年）に社長に就任しました。

私は「無為自然」という言葉と、織田信長のチャレンジ精神が好きで、その両方が企業経営に必要なものだと思っています。





田名部社長

## 「小ロット 製造代行サービス」 という業種 1個〜数千個の製造に対応

製品設計から加工、組み立てまで、従来バラバラの町工場の機能をワンパッケージでご提供できる加工サービスが我が社の強みです。しかも1個から数千個までのどんな注文にもお応えし、お客様の夢をカタチにすることができま

きます。我が社の「製造コンシェルジュ」がお客様のニーズや課題を詳細に伺って、担当者が3D-CADで複雑な設計図面を描き、職人

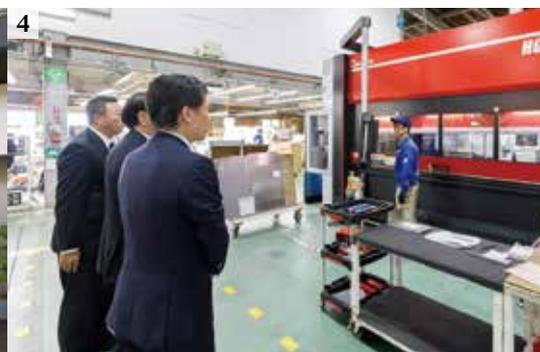
の技とIoTを融合させた最新鋭加工機を備えた本社と夜須町の加工工場で、部品加工や機械装置組立てまでをお客様に代わって行います。

材質もスチール、ステンレス、アルミと様々な金属に対応し、大型の半導体・液晶製造装置から微細な電子部品まで金属部品の製造、開発設計、制御、ソフト開発、加工技術、品質管理、生産管理までサービス分野は広範囲にわたっています。

国内のみならずベトナムにもオフィスを構え、昨年ベトナムの地元企業と合弁会社を設立し、配電盤の製造を開始しました。

## モノづくりのDNAを大切に 女性も働きやすい職場づくり

現在最も注力していることが、我が社のモノづくりDNAを継承する取組みです。「三松大学」という教育カリキュラムを策定し、一貫した教育体系の中で「個人のスキルアップ」「企業人としての人材開発」を目的に実施しています。これまで我が社は多種多様な



1.2.大型の金属加工機で曲げ加工を行う／3.工場内は空調設備が整っており効率良く作業が進んでいる／4.複数のレーザー加工機で様々な加工が施される／5.これまで納品された製品は超微細なものから大型まで多種多様／6.本社入口ではステンレス製すべり台がお出迎え／7.工場内は整理整頓されており部品の所在がすぐにわかる／8.独自の教育プログラムを持つなど人材育成を重視



最前列左4番目から田名部社長、柴戸頭取、吉田支店長(福岡銀行)

製品を製造してきましたが、そこで培われた製造ノウハウを体系化し、将来に引き継いでいこうという取組みです。

さらにはこの「三松大学」を他社へもオープン化し、ロボットスクールなど、三菱電機様や川崎重工工業様の協力のもと、産業用ロボットを扱うために必要なロボット基礎講習を開講するなど、モノづくりDNAの伝道者事業を行うこともはじめました。

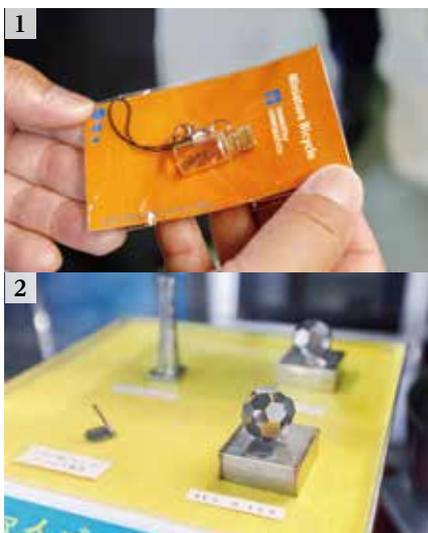
また社内で毎年開催している「三松マイスター総選挙」では従業員の投票などをもとに優れた技術者を選んで表彰し、従業員のレベルアップを応援しています。

さらには「福岡県子育て応援企業」として、育児休業を取得しやすく、休業してもスムーズに復帰できる仕組みづくりなど、女性が活躍できる職場環境も整えています。

## IoTと職人の技で

### 医療・宇宙分野へ新たな挑戦

時代はIoTによって劇的な変化を迎えています。バーチャルなデジタル技術とリアルな



1. 2mm厚ステンレスに0.2mm幅で形作ったミニチュア自転車/  
2. 納品された製品は超微細な物から大型まで多種多様

職人技術によって、我が社の未来にも新たな可能性が広がっています。

これからは最先端の金属加工をベースに、製品やサービスの開発受託や製品コンサルタントのファーストコール・カンパニーを目指しつつ、製造工場を運営するうえで必要なハードウェア、ソフトウェア、教育体系、ノウハウなどをパッケージ化し、工場コンサルティング事業 サービスを展開したいと考えています。

近い将来、我が社が目標としていることは、「五指駆動機構リハビリ装置(※1)」の製造販売により医療分野へ進出すること、「結晶粒微細化する加工熱処理(※2)」でできる新素材を使って航空・宇宙分野へ進出することです。



オープン・イノベーションによる創造が、現代の技術革新の原動力となっている今日、機械と人、大企業と中小企業、産業界と学界、中央と地方、そして世界と日本を「IOTを伴うモノづくり」によってつなげたい。その一翼を担うことこそが我が社の使命だと思っています。

(※1) 神経が寸断された手の指の関節を動かして運動機能を回復させる医療用器具

(※2) チタンなどを高熱・高圧で細かい粒子にし、高機能材料に再製する特殊加工技術

## インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 柴戸 隆成



製品設計から加工、組み立てまでをワンパッケージで対応する「小ロット製造代行サービス」で独自のマーケットを開拓されてきました。さらに、これまでに培われた職人の技と最新のIoT技術を融合した最先端の生産技術をベースに、工場コンサルティング事業サービスの展開を目指されています。

今後も他社を含めたモノづくりDNAの承継にも注力され、地域の発展に寄与されるとともに、医療・航空・宇宙分野への新たな挑戦が成功されることを祈念いたします。



世のため人のため「いのちをまもる  
自動車学校」。「KDS健康経営」は  
全国で注目されています。

熊本KDSグループ

株式会社KDS

熊本ドライビングスクール

代表取締役

永田 佳子 氏

取引店／熊本銀行武蔵ヶ丘支店

#### ■会社概要

創業・設立:1963年／所在地:熊本市北区／資本金:3,000万円／  
従業員:100名(グループ合計)／事業内容:自動車学校／事業拠点:  
熊本市北区／グループ企業:株式会社KDS菊池自動車学校、株式  
会社炭屋



KDS熊本ドライビングスクール前(左から永田社長、竹下頭取)

## 創業50年余の自動車学校 専業主婦から経営トップに転身

日本のモーターゼーション(車社会)は、1964年(昭和39年)東京オリンピックの直後から、急速に進みました。道路網が整備され、大衆車が出現し、多くの人が運転免許を取得するようになりました。

KDSグループは、時代を読み取った父・松本新吉が、1963年(昭和38年)、出身地の熊本・菊池市に株式会社KDS菊池自動車学校を設立したのが始まりです。昭和40年代初め、2,200万人ほどだった全国の運転免許保有者数は、昭和50年代には5,000万人を超えました。旺盛な教習需要に応えるため、1976年(昭和51年)、熊本市に株式会社KDS熊本ドライビングスクールを設立。現在の経営基盤を築いた新吉は、1994年(平成6年)に他界し、創業時から携わっていた母・玲子を経て2009年(平成21年)に私が経営を引き継ぎました。結婚して1男1女を育てる専業主婦から経営者への転身でした。

## インストラクターは「ほめ達！」 ほめて伸ばして安全運転

いまや運転免許保有者数は8,000万人を超えましたが、最近はその少子化もあって新規免許取得者は減りつつあります。こうした経営環境の中で経営のバトンを引き継いだ私は、事業の発展継続を改めて誓い、「いのちをまもる自動車学校」を経営ビジョンに掲げました。それを具体化する3つの取り組みとして、「Safety(安心安全な交通社会を作るための取り組み)」「Communication(デジタル時代だからこそ人間力を高める取り組み)」「Ecology(環境と共生することを大切にする取り組み)」を実践してきました。

教習生のやる気や自信を削ぐことなく鍛えるために、指導員ら社員は、一般社団法人「日本ほめる達人協会」による「ほめ達!」(ほめる達人)のトレーニングを受け、ほめて伸ばす指導員を行っています。また教習生は若者が多いことから、人間力を高めて、力強く社会に踏み出すお手伝いもします。指導員は担当制とし、入校から卒業まで、教習生一人ひとりの性格や生活スタイルを理解した上で質の高い指導を

3 1





永田社長

### 思いやり運転を呼びかける「ゆるや傘」安全運転再教育等も充実

運転者だけでなく、子どもから高齢者、障がいのある方も含め、共に生きる人たちにとって、安全な交通社会の実現にも注力しています。5年前から、地域の新入学児童に贈っている

行い、悩みを聞いてアドバイスも行っています。さらに笑顔や挨拶、身だしなみなど、マナーアップのセミナーなども開催しています。環境面では、全教習車にLPG仕様車、営業車には電気自動車を導入し、校舎の電気は太陽光発電で賄うなど、CO<sub>2</sub>を削減して共生を図っています。

「ゆるや傘」は、これまでに5万本を届けました。熊本出身の放送作家・小山薫堂さんが提唱し、全国に広まった交通安全プロジェクト「スマートドライバ―」に賛同したもので、ピンクのチェッカーフラッグ柄の雨傘が「思いやり運転・ゆつくり運転を」と呼びかけています。小山さんが生みの親のキャラクター「くまモン」がプリントされているのはKDS版のみです。

企業ドライバー向けの安全運転再教育については、安全運転講習や講演会の他、運転技能自動評価システム(商品名: オブジエ)を熊本県下で初めて導入しました。ドライバーの頭(帽子)と右足甲(靴)に小型センサーを取り付け、道路を走りながら安全運転達成度を計測し、コンピューターで自動評価して問題点を見つけてます。

発達障がいのある方には、社会進出のひとつの手段として運転免許取得のサポートを行うほか、事故や病気による高次脳機能障がいを持つ方の運転再開プログラムも実施に向けて動き出しています。また2008年(平成20年)から可能になった聴覚障がいのある方の教習も手話やUDトーク(※)を使って専門スタップが行なっています。



8 6



4



5

1.KDS熊本ドライビングスクール教習の様子/2.二輪シミュレーターを体験/3.地域の新入学児童に贈っている「ゆるや傘」を手記念撮影/4.九州の自動車学校では初めて静脈認証を導入(見学風景)/5.厚生労働省の「健康寿命をのばそう!アワード優良賞」を受賞/6.無人飛行機「ドローン」操縦者育成にも今後注力していく予定/7.黒髪カフェ&キッチン/8.企業メッセージ



最前列左3番目から一宮校長、永田社長、竹下頭取、松永支店長（熊本銀行）、茂田課長代理（熊本銀行）

（※1）コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ…  
 多言語の翻訳及び音声認識や音声合成を実装すること、障がい者バリアフリーだけではなく言語バリアフリーに、漢字かな変換機能を使うことで世代間バリアフリーに、多目的に使えるコミュニケーションアプリ

## 社員は「会社の宝」 健康経営で社員のいのちをまもる

「健康経営」は、社員の健康の維持・増進が企業の生産性や収益性向上につながるという経営手法です。きっかけは、経営を引き継いだ頃に体験した社員2人の相次ぐ病死でした。2人とも働き盛り。生活習慣病を患い、家庭や会社の「宝」である人材の早すぎる死でした。「社員の健康を守ることは私の責務」と強く感じ、「KDS健康経営プロジェクト」を始めました。健康診断で再検査になった場合は、その結果提出を就業規則で義務付け、早期発見・早期治療を徹底しています。専門医から喫煙の害を学び、敷地内の全面禁煙、非喫煙者への禁煙推進手当、禁煙成功者への奨励金支給等により、2009年（平成21年）に81%だった喫煙率は現在8%まで減少しました。

「健康の源」の食事の改善にも力を入れ、

栄養とカロリーを計算した社食を提供するとともに、440円の社食の半額は会社が負担しています。その他、休日の歩数を競う社内万歩大会などのメタボ対策、ストレスのない職場環境づくりなどが評価され、我が社の「健康経営」の取り組みは厚生労働省の「健康寿命をのばそう！アワード優良賞」、経済産業省の「健康経営優良法人」を2年連続受賞するなど全国で注目されています。

### 逆境下で売り上げアップ

### さらに新分野を開拓・拡充

創業から半世紀が過ぎ、卒業生は約15万人に上り「親子3代KDS」と嬉しい声も頂きます。健康経営で社員のモチベーションは高まり、逆境下で近年売り上げを伸ばして、社長就任時から比較すると2017年(平成29年)は16%アップ、さらに次の一手としての様々な分野の開拓・拡充を進めています。

無人飛行機「ドローン」を用いた写真測量や空撮などの需要が高まっており、社員の提案でドローン操縦者を育成するスクールの開校を計画しています。また高齢者の方向けに、

安全運転を続けていただくため、健康を保ちながら認知症予防にもつなげる交通安全講習会なども充実させたいと考えています。

昨年、熊本大学キャンパス近くに、健康経営のラボとして「黒髪カフェ&キッチン」をオープンしました。地元の食材を使い、健康に気を配ったメニューを提供し、社員のベジファースト用野菜サラダはここから供給しています。厚生労働省などからは、健康経営の啓発を求められ、全国規模のセミナーなどに講師で招かれることも多くなりました。

情報通信技術(ICT)の発達で、多様な車両制御が可能となり、今後サポカー(※2)・サポカーS(※3)の特性を知る教習も必要です。高齢者の再雇用や女性の短時間労働、子育て支援など、ダイバーシティへの取り組みや、心が触れ合う教習・健康経営や受動喫煙防止プロジェクトを通じた青少年の健全育成などをより進め、社会貢献する企業としての存在感をいっそう高めていきたいと思えます。

(※2)セーフティ・サポーター…自動ブレーキを搭載した、全ての運転者に推奨する自動車

(※3)セーフティ・サポーターS…自動ブレーキに加え、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した、特に高齢運転者に推奨する自動車

## ■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 竹下 英



熊本KDSグループ様は、車社会の到来を的確にとらえて創業され、「世のため人のための社会貢献」を社是に、15万人もの優秀なドライバーを育ててこられました。思いやり運転、事故防止の啓発にも注力されています。

労働人口が減少するなかで人的生産性の向上はどの企業でも課題になっており、健康経営は注目される経営手法です。永田社長の専業主婦経験も随所に活かされた斬新な経営は、さらに多くの方の共感を得られるものと確信しています。



人と人の「心の絆」を包む  
ギフトパッケージを製造販売。  
技術力で長崎から世界へ。

株式会社 旭屋

あさひや

代表取締役社長  
吉岡

よしおか

英一氏

えいいち

取引店／親和銀行 時津支店

#### ■会社概要

創業:1953年／設立:1976年／所在地:長崎県西彼杵郡時津町／  
資本金:5,000万円／従業員:124名／事業内容:ジュエリー・お菓子  
等のギフトパッケージ製造販売／事業拠点:(本社)長崎県西彼杵郡  
時津町、(海外)中国



本社前(左から吉岡社長、吉澤頭取)

## 機械化を進めて販路拡大 ジュエリーで商機をつかむ

我が社は貼り箱(ボール紙にさまざまな色やデザインの紙を貼る立体的な箱)でギフトパッケージを製造販売しています。

創業者は父・吉岡敏夫(故人)です。箱製造業を営んでいた知人に作り方を学び、1953年(昭和28年)、長崎市八幡町で「あさひ堂」を創業しました。私も18歳になると家業に入り、両親や2、3人のパートさんと一緒に、朝早くから夜遅くまで手作業で婚礼用の餅菓子やかまぼこの箱を作っていました。

1976年(昭和51年)、工場のプレス機による振動の問題が気になり近所に迷惑をかけるといけないと長崎市滑石町へ移転。その後現在地である西彼杵郡時津町に移転し、機械化を進めながら事業を拡大していきました。経営は順調でしたが、売り上げを一地域、一業種に依存することにリスクを感じ、福岡・大阪・東京と営業活動を行い、販路を開拓するとともに、将来性に着目してジュエリーパッケージの分野に参入しました。その頃、ジュエリーパッ

ケージはプラスチックか鉄板に布を貼ったものが主流でしたが、ティファニーが紙箱を使用したことをきっかけに紙箱が広く認知されるようになりました。

1994年(平成6年)からお菓子、バレンタインデー等のパッケージ販売にも力を入れました。ジュエリーパッケージで求められたデザイン性と品質の良さが評価されたのだと思います。現在の売り上げはジュエリー関係が40%、お菓子・バレンタイン関係が40%を占めています。

## 多品種・小ロットで全国展開 独自ブランドも立ち上げ

現在、年間約600万個のギフトパッケージを製造し、関東・関西を中心に北海道から沖縄まで全国約800社のお客様(代理店様)に商品を納めています。ユーザー様は大手のジュエリーやお菓子のメーカー、誰もが知っているテーマパークなど数えきれません。一つずつ丁寧についた我が社の箱が全国のパート



2 1



3





吉岡社長

や専門店のショーウィンドーを美しく飾っているのは、私たちのひそかな誇りです。

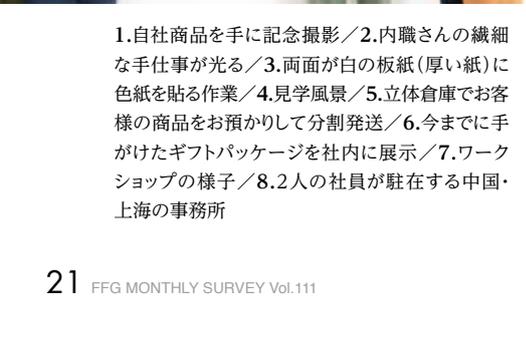
注文品以外には、ジュエリー用パッケージブランド「CHALAZA」<sup>カラザ</sup>、お菓子ギフト用パッケージブランド「ALLES」<sup>アレックス</sup>、その他パッケージブランド「DRESS」<sup>ドレス</sup>と計3つのオリジナルブランドを立ち上げ、それぞれ約100種類のパッケージを揃えて、お客様がお求めやすいように小ロットで販売しています。またオーダーメイドにもお応えし、これまで3万種類以上のお客様オリジナル商品を手がけてきました。10年以上前に注文を受けたオリジナル商品でも商品番号で常と同じ商品ができるように、細かい仕様も含めてコンピュータ管理を行っています。

最大のセールスポイントは、何処にも負けない国内でもトップクラスの技術力です。また安定した品質、小ロット生産、短い納期、適正な価格で商品をご提供するとともに、我が社の立体倉庫で3〜6ヶ月お客様の商品をお預かりし、分割発送することで、お客様の倉庫負担減も図っています。

### 品質の良い商品を生み出す「内職さん」の活躍

我が社の品質へのこだわりは「資材管理」「設計」「生産」という全ての工程の細部に及んでいます。

品質の良い商品を作るためには、まず良い資材を選ばなくてはなりません。常に500種類以上の紙を備えています。最高のコンディションを保つために徹底した管理を行っています。板紙(厚い紙)は、表が白で裏がネズミ色の「裏ネズ」を使う場合が多いのですが、我が社ではコストアップとなりますが両面が白の板紙を使うことで、色の薄い紙を貼ってもネズミ色が透けずにイメージ通りに美しく仕上がり



1.自社商品を手元に記念撮影／2.内職さんの繊細な手仕事が光る／3.両面が白の板紙(厚い紙)に色紙を貼る作業／4.見学風景／5.立体倉庫でお客様の商品をお預かりして分割発送／6.今までに手がけたギフトパッケージを社内に展示／7.ワークショップの様子／8.2人の社員が駐在する中国・上海の事務所



前列左4番目から吉岡取締役、吉岡社長、吉澤頭取、前田支店長（親和銀行）

ます。箱を組み立てるためには接着剤も重要です。ニカワ（糊）は常に最良の状態で貼ることができるよう濃度の調整を行っています。また、箱は嵌合（はまり合い）が大切です。蓋は滑らかに開け閉めできなくてはなりません。これが難しく、資材、設計、生産の全てがうまく機能しなければ嵌合の良い箱はできません。0.1ミリ単位で微調整しながら慎重に進めます。

何よりも高品質の商品を作ることができるのは、「内職さん」の存在です。設計や生産管理はシステム化されていますが、最終的な仕上げは手作業で、熟練した技で一つずつ作りします。160人以上が働いており、高水準の商品を安定して納められる体制が他社にはない強みです。

### 「長く働きたい会社」を目指す 地域貢献も

会社にとって大切なことは「長く続くこと」です。そのためには何よりも働いている人が幸せでなくてはなりません。「長く働いて

良かった」と言われる会社を目指しています。60歳が定年ですが、再雇用でそれ以降も働き、70歳を超えても働いてほしいと考えています。

地域貢献としては月に1回、ワークショッブを開いています。「こどもの日」や「母の日」などをテーマに、家族で無地の箱に好きな飾りつけをします。子どもたちにも喜んでもらっています。参加したお母さん方のなかには箱作りの楽しさを知って内職さんになる方もいます。

### 上海事務所を足がかりに アジア、欧米への輸出を目指す

国内の製造を補うため、2人の社員が常駐する中国・上海の事務所を経由して中国のメーカーからも商品を購入しています。国内と同レベルの商品を作るのは容易ではありませんが、7年目で黒字を達成しました。現在は輸入品の販売が売り上げ全体の2%程ですが、将来は10%を目標にしています。

さらに海外への販路拡大にも注力していくつもりです。ヨーロッパ、台湾、韓国、中国、アメ

リカなどがターゲットで、製造能力や価格など大きな課題もありますが、品質、デザイン力で乗り越えていきたいと思っています。

大切な日に大切な人に贈るジュエリーやバラスタインの箱には愛と希望が、お土産の箱には旅の楽しい思い出が詰まっています。パッケージは贈る人の気持ちをギフトと共に届ける大切なパートナーです。これからも常に時代とお客様のニーズに合わせた商品をお届けしていきます。



## ■ インタビューを終えて

親和銀行 取締役頭取 吉澤 俊介

サンプルコーナーを見せていただきましたが、数え切れないほどの商品で埋め尽くされていました。どれも繊細で美しく、社長のおっしゃる通り、「人と人の心の絆を包む商品」だと実感しました。

確かな技術力とデザイン、最新鋭の生産システムによる多品種・小ロット生産で安定経営を実現されました。海外にも目を向けて上海事務所を開設され、アジアから欧米まで新たな市場開拓にも意欲的です。今後の展開を大いに期待しています。

